

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※総合開発特別委員会(平成24年8月29日)以降の経過

平成24年8月29日	総合開発特別委員会を開催(訓練計画概要の説明)
平成24年8月30日	植苗・美沢地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・12名参加 在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会総会開催
平成24年8月31日	沼ノ端地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・23名参加
平成24年9月1日	勇払地区・地域説明会(訓練計画概要の説明)・15名参加
平成24年9月3日	苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会開催 (総合政策部、環境衛生部、危機管理室他関係部署)
平成24年9月4日	北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置(10:00)
平成24年9月5日 ～9月7日	訓練移転実施
平成24年9月8日	北海道防衛局訓練移転現地連絡本部が閉所(10:30)
平成24年9月12日	「第18回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催

国内の米軍基地での騒音発生回数の推移

資料 1 - 2

飛行場	年度	測定地点	1日当たりの平均騒音発生回数	年間騒音発生回数	備考
1 嘉手納飛行場	平成16年度	(H17.12 局より回答された数値)	197	72,000	
	平成17年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	116	41,810	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	65	23,318	
		滑走路両端計	181	65,128	
	平成18年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	109	39,948	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	66	24,002	
		滑走路両端計	175	63,950	
	平成19年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	104	37,794	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	58	21,230	
		滑走路両端計	162	59,024	
	平成20年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	97	35,286	
		嘉手納基地内(県道側)沖縄市	59	21,514	
	滑走路両端計	156	56,800		
平成21年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	96	35,094		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	63	22,937		
	滑走路両端計	159	58,031		
平成22年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	81	29,467		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	63	22,931		
	滑走路両端計	144	52,398		
平成23年度	嘉手納基地内(国道側)北谷町	71	24,365		
	嘉手納基地内(県道側)沖縄市	49	17,695		
	滑走路両端計	120	42,060		
2 岩国飛行場 (自衛隊機含む)	平成16年度	(H17.12 局より回答された数値)	137	50,000	
	平成17年度	岩国基地滑走路南側	62	22,620	
		岩国基地滑走路北側	66	24,144	
		滑走路両端計	128	46,764	
	平成18年度	岩国基地滑走路南側	75	27,537	
		岩国基地滑走路北側	75	27,462	
		滑走路両端計	150	54,999	
	平成19年度	岩国基地滑走路南側	72	26,321	
		岩国基地滑走路北側	72	26,237	
		滑走路両端計	144	52,558	
	平成20年度	岩国基地滑走路南側	68	23,250	
		岩国基地滑走路北側	67	24,237	
	滑走路両端計	135	47,487		
平成21年度	岩国基地滑走路南側	66	24,012		
	岩国基地滑走路北側	64	23,090		
	滑走路両端計	130	47,102		
平成22年度	岩国基地新滑走路南側	61	18,377	5/29からのデータ (5/29より新滑走路 運用開始)	
	岩国基地新滑走路北側	62	18,545		
	滑走路両端計	123	36,922		
平成23年度	岩国基地新滑走路南側	62	22,423		
	岩国基地新滑走路北側	62	22,537		
	滑走路両端計	124	44,960		
3 三沢飛行場 (自衛隊機、 民航機含む)	平成16年度	(H17.12 局より回答された数値)	186	68,000	
	平成17年度	飛行場内(西)	97	35,385	
		飛行場内(東)	99	36,254	
		滑走路両端計	196	71,639	
	平成18年度	飛行場内(西)	97	35,325	
		飛行場内(東)	99	35,969	
		滑走路両端計	196	71,294	
	平成19年度	飛行場内(西)	93	33,794	
		飛行場内(東)	93	33,677	
		滑走路両端計	186	67,471	
	平成20年度	飛行場内(西)	84	30,401	
		飛行場内(東)	85	30,710	
	滑走路両端計	169	61,111		
平成21年度	飛行場内(西)	78	28,103		
	飛行場内(東)	81	29,160		
	滑走路両端計	159	57,263		
平成22年度	飛行場内(西)	66	23,892		
	飛行場内(東)	67	24,191		
	滑走路両端計	133	48,083		
平成23年度	飛行場内(西)	82	29,611		
	飛行場内(東)	84	30,557		
	滑走路両端計	166	60,168		

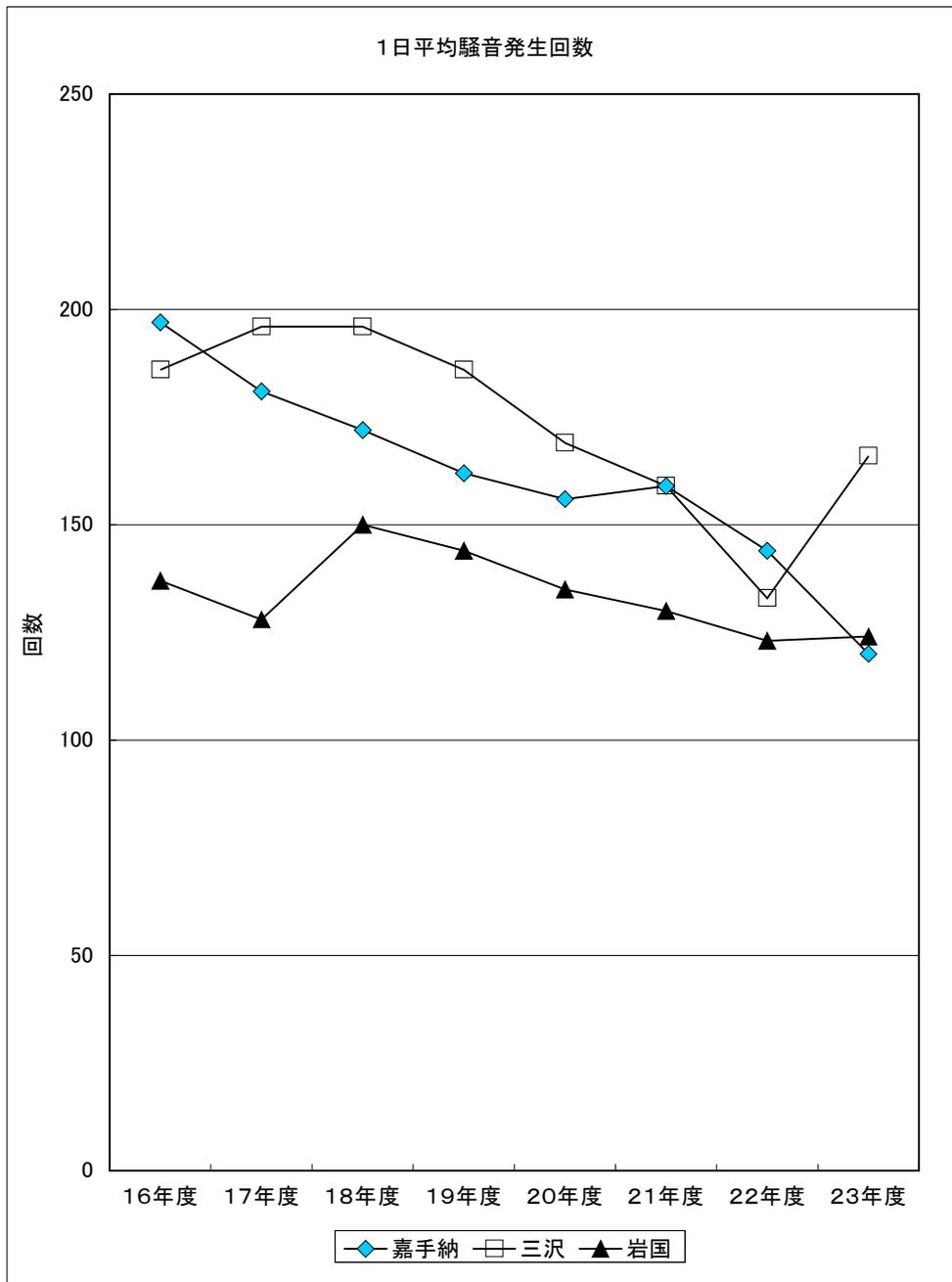
※騒音発生回数データは、各防衛局HPより

国内米軍基地の航空騒音状況

上段：1日当りの平均騒音発生回数

下段：年間騒音発生回数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
嘉手納	197	181	175	162	156	159	144	120
	72,000	65,128	63,950	59,024	56,800	58,031	52,398	42,060
岩 国	137	128	150	144	135	130	123	124
	50,000	46,764	54,999	52,558	47,487	47,102	36,922	44,960
三 沢	186	196	196	186	169	159	133	166
	68,000	71,639	71,294	67,471	61,111	57,263	48,083	60,168



米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

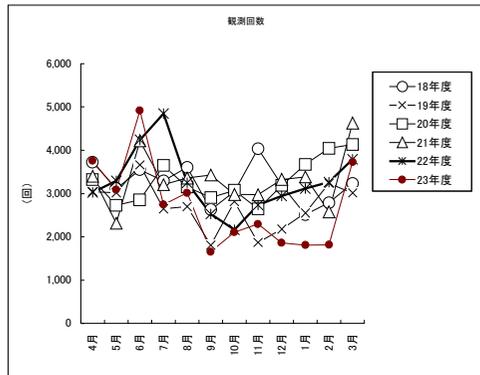
照会項目	沖繩市	嘉手納町	北谷町	備考
	(1)平成23年度の環境基準超過日数を教えてください。 (22年度分は前回の調査結果)	市内の4ヶ所の測定局 377日	町内の4ヶ所の測定局 1,089日	
	市内の4ヶ所の測定局 367日	町内の4ヶ所の測定局 871日	町内の4ヶ所の測定局 423日	
2カ年度の比較	-10日	-218日	-62日	
(2)平成23年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数につきまして、把握されておりましたら教えてください。	当市において外来機の機数は教えておりませんが、沖縄防衛局の情報や、新聞報道等により把握した平成23年度の外来機の機数は、約61機です。	嘉手納町基地渉外課職員の見視調査、新聞等の情報を基けています。 ・平成18年度 61機 ・平成19年度 42機 ・平成20年度 105機 ・平成21年度 358機 ・平成22年度 252機 ・平成23年度 75機	外来機については、特定の訓練以外は事前通告もなく飛来することから把握することは困難な状況です。	
(3)平成23年度の訓練移転実施により、貴市(町)への負担が軽減されたとお考えですか。	結論から申しますと訓練移転による負担軽減は感じません。 市内でも航空騒音の苦情は市東部地域において増加傾向を示しており今年度から新たに騒音測定器を増設し今後の対応を考えているところとです。 相変わらず外来機の飛来は繰り返されており、負担軽減航空機騒音の件では、その他航空機の部品落下事故等々のため、目に見える負担軽減は感じません。	平成23年度の騒音発生回数約8ヶ月間、嘉手納飛行場北側滑走路(嘉手納町側)の改修工事があり減少している。 平成24年2月に行われたグアム島での嘉手納基地所属F-15戦闘機の訓練移転期間中における90dB以上の騒音発生回数は、前年2月と比較すると大幅に減少しており、当該期間中は、負担が軽減されたと考えられる。	訓練移転が実施される中、嘉手納飛行場には国内外を問わず他基地所属の外来機が頻繁に飛来し、ほぼ常駐状態であり、住民が実感できる真の負担軽減にはなっていません。 航空機の訓練移転等による離着回数減少しているとは思いますが、本町の隣にある宜野湾市普天間飛行場から本町の西側を低空飛行する海兵隊への騒音等、高飛行場から発生する騒音が町民生活に様々な影響を及ぼしており、訓練移転の効率は現れておらず、米軍再編で言われた負担軽減とはほど遠く、逆に基地の機能強化につながる負担が増加しています。	

嘉手納基地周辺地域騒音測定結果及び嘉手納基地への外来機数

嘉手納基地周辺地域騒音測定結果

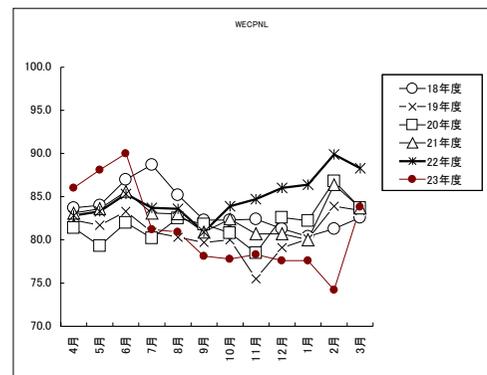
嘉手納町 測定局名: 屋良

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	3,726	3,044	3,323	3,399	3,028	3,757
5月	3,119	3,021	2,730	2,313	3,292	3,086
6月	3,549	3,660	2,854	4,217	4,241	4,915
7月	3,293	2,649	3,645	3,206	4,846	2,746
8月	3,602	2,700	3,152	3,357	3,250	3,017
9月	2,629	1,810	2,904	3,427	2,528	1,660
10月	3,046	2,814	3,073	2,979	2,164	2,107
11月	4,034	1,872	2,645	2,971	2,738	2,298
12月	3,201	2,179	3,185	3,327	2,945	1,862
1月	2,515	2,551	3,674	3,383	3,116	1,810
2月	2,786	3,236	4,042	2,579	3,264	1,816
3月	3,231	3,013	4,130	4,627	3,792	3,729



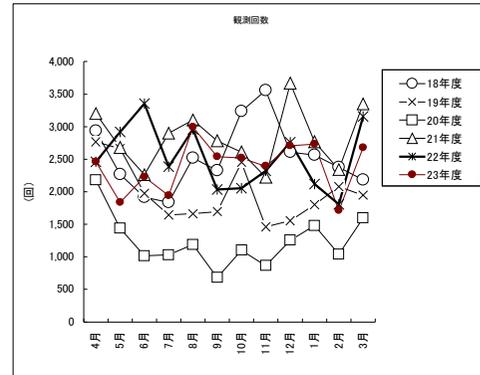
WECPNL

WECPNL	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	83.7	82.3	81.4	83.1	82.8	86.0
5月	84.0	81.7	79.3	83.6	83.3	88.1
6月	87.0	83.3	82.0	85.6	85.3	90.0
7月	88.7	80.9	80.2	83.1	83.7	81.2
8月	85.2	80.3	82.5	83.0	83.6	80.9
9月	82.3	79.7	81.8	80.9	80.9	78.1
10月	82.3	80.0	80.8	82.4	83.9	77.8
11月	82.4	75.5	78.5	80.7	84.7	78.3
12月	81.3	79.1	82.6	80.7	86.0	77.6
1月	80.4	80.1	82.2	80.0	86.4	77.6
2月	81.3	83.9	86.8	86.4	89.9	74.2
3月	82.6	83.4	83.7	83.7	88.3	83.8



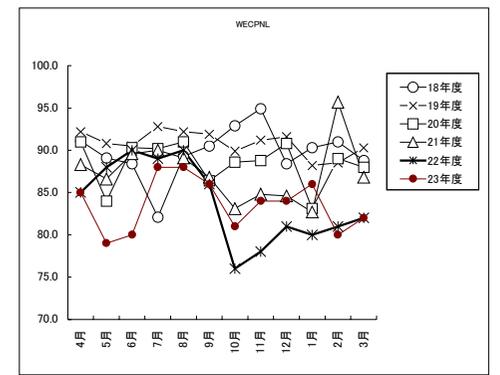
北谷町 測定局名: 砂辺

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	2,933	2,767	2,179	3,201	2,461	2,461
5月	2,269	2,661	1,439	2,679	2,918	1,839
6月	1,917	1,975	1,016	2,262	3,355	2,228
7月	1,836	1,645	1,031	2,900	2,386	1,942
8月	2,519	1,663	1,188	3,103	2,959	2,995
9月	2,327	1,695	681	2,783	2,036	2,537
10月	3,234	2,452	1,103	2,609	2,057	2,518
11月	3,557	1,461	865	2,222	2,324	2,393
12月	2,608	1,555	1,256	3,667	2,762	2,708
1月	2,565	1,802	1,479	2,768	2,119	2,734
2月	2,378	2,080	1,040	2,342	1,807	1,711
3月	2,184	1,948	1,594	3,349	3,158	2,677



WECPNL

WECPNL	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	91.1	92.2	91.0	88.3	85.0	85.0
5月	89.1	90.8	84.0	86.6	88.0	79.0
6月	88.4	90.5	90.3	89.6	90.0	80.0
7月	82.1	92.8	90.2	90.0	89.0	88.0
8月	89.3	92.2	91.0	89.1	90.0	88.0
9月	90.5	91.9	86.4	86.8	86.0	86.0
10月	92.9	89.9	88.6	83.1	76.0	81.0
11月	94.9	91.2	88.8	84.8	78.0	84.0
12月	88.4	91.6	90.8	84.6	81.0	84.0
1月	90.3	88.2	83.1	82.7	80.0	86.0
2月	91.0	88.5	89.0	95.7	81.0	80.0
3月	88.8	90.3	88.0	86.8	82.0	82.0



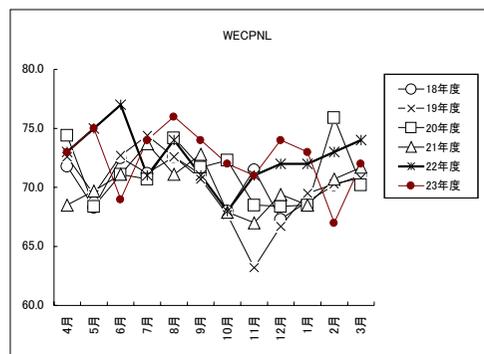
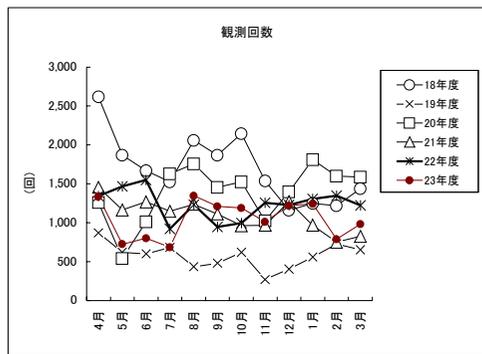
沖縄市 測定局名:知花

観測回数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	2,622	870	1,260	1,455	1,344	1,334
5月	1,866	620	540	1,164	1,467	723
6月	1,668	600	1,011	1,266	1,548	801
7月	1,525	682	1,627	1,147	919	683
8月	2,058	434	1,755	1,236	1,230	1,347
9月	1,869	480	1,454	1,111	944	1,210
10月	2,145	620	1,524	961	997	1,190
11月	1,536	270	1,025	968	1,257	1,012
12月	1,159	403	1,395	1,272	1,227	1,218
1月	1,246	558	1,811	968	1,304	1,242
2月	1,220	728	1,599	750	1,348	788
3月	1,438	651	1,585	824	1,223	981

WECPNL	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月	71.8	72.6	74.4	68.5	73.0	73.0
5月	68.3	69.4	68.4	69.7	75.0	75.0
6月	72.5	72.7	71.1	71.1	77.0	69.0
7月	71.2	74.4	70.7	73.7	71.0	74.0
8月	72.6	72.6	74.2	71.1	74.0	76.0
9月	71.1	70.7	71.7	72.8	71.0	74.0
10月	68.0	67.7	72.3	67.9	68.0	72.0
11月	71.5	63.2	68.5	67.0	71.0	71.0
12月	67.3	66.7	68.4	69.4	72.0	74.0
1月	68.8	69.5	68.5	68.5	72.0	73.0
2月	70.2	70.3	75.9	70.7	73.0	67.0
3月	71.0	70.8	70.2	71.7	74.0	72.0

嘉手納基地への外来機数(目視情報)

H16年度	205 機
H17年度	89 機
H18年度	61 機
H19年度	42 機 → ※H19.1~12まで北側滑走路工事のため閉鎖
H20年度	105 機 → ※F15戦闘機不具合のため約3ヶ月一時飛行停止
H21年度	358 機
H22年度	252 機 → ※H22.10~23.7まで南側滑走路工事のため閉鎖
H23年度	75 機 → ※H23.7~24.2まで北側滑走路改修工事のため閉鎖



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書(中間)

【 訓練期間 平成24年9月5日(水)

~平成24年9月7日(金) 】

平成24年9月

苫 小 牧 市

目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績	1
米軍再編に係る各基地の訓練移転経過	2
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	3
千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について （8月10日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	6
米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について （8月27日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	10
地域説明会の開催結果について	14
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する 米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会関係	15
千歳基地への訓練移転実施内容（結果）について	23
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について	24
訓練移転に伴う騒音測定結果について	25

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）実績

訓練月日	参加部隊	参加規模	演練項目	訓練空域	訓練回数	米軍人の外出
1 H20. 2. 25～H20. 2. 28	海兵第12飛行大隊に所属する 派遣海軍部隊（岩国）	タイプ I 訓練 F A - 18 × 4 機 人員 13名	戦闘機戦闘訓練等	三沢東方空域 秋田西方空域	2 回	なし
2 H20. 12. 8～H20. 12. 12	第18航空団（嘉手納）	タイプ I 訓練 F - 15 × 5 機 人員 72名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	5 回	あり
3 H21. 4. 20～H21. 4. 23	米海兵第12飛行大隊（岩国）	タイプ I 訓練 F A - 18 × 5 機 人員 32名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域	1 回	あり
4 H22. 11. 8～H22. 11. 19	第18航空団（嘉手納）	タイプ II 訓練 F - 15 × 12 機 人員 約170名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	9 回	あり
5 H24. 9. 5～H24. 9. 7	第12海兵航空群（岩国）	タイプ I 訓練 F A - 18 × 4 機 人員 約20名	戦闘機戦闘訓練等	北海道西方空域 三沢東方空域	5 回	あり

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練 タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 2回程度		H19.1.11に通知、3月を目途とし 回数不明だが1回と思われる			
	築 城	H19.3.5(月)～8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の連絡会議 (道・宮崎・千歳)	
	計	築城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣	
19	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 2回程度		H19.1.31に通知			
	小 松	H19.5.16(水)～23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。
	築 城	H19.6.18(月)～22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無	
	三 沢	H19.7.16(月)～21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない
	新田原	H19.9.3(月)～5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣	
	百 里	H19.10.15(月)～19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣	
	小 松	H19.11.5(月)～16(金)	F15×12機 約180人	II	嘉手納	無	F15事故調査のため中止
	百 里	H20.1.15(火)～18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無	
	千 歳	H20.2.25(月)～28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 II:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣	
20	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 併せて10回程度		H20.6.20に通知			
	三 沢	H20.7.23(水)～30(水)	F15×6機 約80人	II	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。
	新田原	H20.9.2(火)～4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無	
	小 松	H20.12.1(月)～5(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	無	
	千 歳	H20.12.8(月)～12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 II:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣	
21	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 3回程度		H21.1.28に通知			
	千 歳	H21.4.20(月)～23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣	
	三 沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	II	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。
	百 里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止。テスト飛行1回のみ。
	小 松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	II	岩国 三沢	無	7/14・15の土日の訓練は行われていない。
	百 里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	II	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。
	三 沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	II	岩国	無	2/27・28・3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
	築 城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:2回 築城:1回 百里:2回 新田原:0回 計:7回		I:3回 II:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣	
22	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) : 1回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) : 併せて15回程度		H22.1.29に通知			
	小 松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。
	三 沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	II	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	千 歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	II	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	小 松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	II	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。
	計	千歳:0回 小松:2回 三沢:1回 築城:1回 百里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 II:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣	
23	計 画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定		H23.10.4に通知			
	築 城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無	
	百 里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	II	岩国	無	
	計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し	
24	計 画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定		H24.3.22に通知			
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	千 歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣	
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:1回 計:2回		I:1回 II:0回 グアム:1回	三沢:0回 岩国:2回 嘉手納:0回		

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成24年9月5日（水）～7日（金）】

- H24. 8. 8(水) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知

- H24. 8. 10(金) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）、概略通知が示される
・ 第16回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔概略通知〕について）
・ 概略通知をホームページ掲載及び「市役所だより」、
「広報とまこまい（9月号）」掲載依頼
・ 概略通知を市議へ連絡

- H24. 8. 13(月) ・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（商工会議所、医師会等）

- H24. 8. 14(火) ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催案内送付及び記者クラブへ通知
・ 町内会連合会への説明の日程を記者クラブへ通知
・ 関係団体へ概略通知を示し、訓練移転への協力依頼（警察、料理飲食業、
飲食店組合等）
・ 地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載依頼

- H24. 8. 17(金) ・ 地域説明会日程をホームページ掲載

- H24. 8. 20(月) ・ 町内会連合会へ説明

- H24. 8. 21(火) ・ 第17回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
（危機管理マニュアルの一部修正について）
・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会開催
（総合政策部、環境衛生部、危機管理室）

- H24. 8. 22(水) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会開催通知
・ 連絡協議会の日程を記者クラブへ通知
・ 北海道防衛局が環境保全課に来庁し、騒音測定地点について確認

- H24. 8. 27(月) ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会開催（北海道防衛局）、詳細通知が示される
・ 市長記者会見（連絡協議会の開催結果〔詳細通知〕について）
・ 詳細通知を市議へ連絡
・ 詳細通知をホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼

- ・ 関係団体へ詳細通知を示し、訓練移転への協力依頼
(町内会連合会、商工会議所、医師会、警察、料理飲食業等)
- H24. 8. 28(火)
- ・ 苫小牧市航空機騒音対策協議会開催 (リサイクルプラザ苫小牧)
 - ・ 北海道防衛局より、戦闘機見学・米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会開催案内
- H24. 8. 29(水)
- ・ 総合開発特別委員会開催
- H24. 8. 30(木)
- ・ 植苗・美沢地区地域説明会 (植苗ファミリーセンター)
- H24. 8. 31(金)
- ・ 沼ノ端地区地域説明会 (沼ノ端コミュニティーセンター)
- H24. 9. 1(土)
- ・ 勇払地区地域説明会 (勇払公民館)
- H24. 9. 3(月)
- ・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会開催
(総合政策部、環境衛生部、危機管理室他関係部署)
- H24. 9. 4(火)
- ・ 航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
 - ・ 米軍の物資等(民間トラック)が千歳基地に到着 (8:50到着)
 - ・ 米軍の人員約20名千歳基地に到着 (13:24、民航機)
- H24. 9. 5(水)
- ・ 戦闘機見学・米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会開催
 - ・ 航空自衛隊千歳基地内に市職員2名を派遣 (~7日)
 - ・ 米軍の戦闘機FA-18×4機・人員4名千歳基地に到着 (8:58到着)
 - ・ 本日 (9月5日(水)) の千歳基地における訓練移転を実施する予定との通知
 - ・ 午後、米軍機 (FA-18×4機)、自衛隊機 (F-15×4機)
北海道西方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
三沢東方空域において、米軍機2機・自衛隊機2機で訓練
 - ・ 昨日 (9月4日(火)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)
- H24. 9. 6(木)
- ・ 本日 (9月6日(木)) の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
 - ・ 午前、第1陣として、米軍機 (FA-18×2機)、自衛隊機 (F-15×2機)
第2陣として、米軍機 (FA-18×2機)、自衛隊機 (F-15×2機)
三沢東方空域において、米軍機4機・自衛隊機4機で訓練
 - ・ 午後、米軍機 (FA-18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機)
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練
 - ・ 昨日 (9月5日(水)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)

- H24. 9. 7(金)
- ・ 本日 (9月7日(金)) の訓練について、午前一有、午後一有の実施予定通知
 - ・ 午前、米軍機 (FA-18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機)
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練
 - ・ 午後、米軍機 (FA-18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機)
北海道西方空域において、米軍機4機・自衛隊機6機で訓練
 - ・ 昨日 (9月6日(木)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)
 - ・ 米軍の戦闘機FA-18×4機が千歳基地から帰還 (15:50離陸)
 - ・ 市長記者会見 (訓練終了について)
 - ・ 米軍の物資等 (民間トラック) が千歳基地を出発 (18:15)
- H24. 9. 8(土)
- ・ 本日、米軍の人員約20名が千歳基地から帰還 (9:38、民航機)
 - ・ 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部閉所 (10:30)
 - ・ 訓練終了をホームページ掲載
 - ・ 昨日 (9月7日(金)) の外出あり(千歳市内)、基地内宿泊者の外泊は無し
(現地連絡本部に問合せ)
- H24. 9. 10(月)
- ・ 関係団体へ訓練移転終了について報告
(町内会連合会、商工会議所、医師会、警察、料理飲食業等)
 - ・ 訓練終了を「市役所だより」掲載依頼
- H24. 9. 12(水)
- ・ 第18回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催 (訓練結果(中間)報告)
- H24. 9. 13(木)
- ・ 総合開発特別委員会開催 (訓練結果(中間)報告)

平成24年8月10日

北海道防衛局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において9月上旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」 での要請事項及び回答

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

訓練の期間や参加部隊等の詳細は、改めて通知されるとのことだが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として次の6項目について要請する。

- ① 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
- ② 訓練は自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- ③ 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。
- ④ 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- ⑤ 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期すこと。
- ⑥ 説明会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

北海道の個別要請

在日米軍の基地問題が特に注目されていることに鑑み、速やかに情報提供を行い、基地周辺に限らず、道民が不安を抱かないようにしていただきたい。

千歳市の個別要請

- ① 今後の具体的な訓練計画の策定にあたっては、協定内容を遵守すること。
特に市民の不安を払拭するためには、無事故が大前提となるので、訓練の安全確保、騒音、治安対策に万全の体制を執ること。
- ② 千歳市では、訓練に参加する米軍人が外出することを前提として、市内の飲食店等の関係者と情報の共有化を図り、共通の理解の下で緊急の連絡体制の確認のため連絡調整会議を開催している。前回訓練時も開催し、その際には北海道防衛局から職員を派遣し説明いただいた。今回も担当職員の派遣について、特段のご配慮を。
- ③ 現地連絡本部に設置する市民からの問合せ電話について、前回と同様に固定電話を設置すること。

苫小牧市の個別要請

- ① これまでの協議経過を踏まえまして、協定書及び協議・確認書の遵守をしていただきたい。
- ② 現地説明会及び米軍ブリーフィングなどを含め、丁寧な説明をしていただきたい。
- ③ 米軍人の外出時等の対応及び訓練に関する情報提供を速やかに伝えていただきたい。
- ④ F A 1 8 戦闘機や F 1 6 戦闘機の墜落事故直後ということもあり、安全を確保するとともに、機体の点検等を徹底し、事故防止に努めていただきたい。また、これらの事故原因及び今後の対策について速やかに情報提供いただきたい。
- ⑤ 訓練終了後の「検証」は必ず行っていただきたい。
- ⑥ 前回訓練終了後、米軍の物資等を積んだ民間チャーター機が帰還の際、土曜日の深夜に市街地上空を飛行しましたが、民間航空機では深夜・早朝枠として6便という制限があり、また、千歳基地としても深夜・早朝時間帯の飛行は自粛していることから、この様な計画は避けていただきたい。

回 答【 北海道防衛局 】

- 平成19年1月26日に千歳市及び苫小牧市と締結した協定書の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議や確認経過を踏まえて訓練移転を実施する。
- 土日、祝日、早朝、深夜における訓練や訓練空域、飛行経路、飛行方法などについては、米軍機は航空自衛隊と同様の態様。
- 米軍人の規律の維持については、防衛省として平素から米軍に対し隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申入れを行っている。これまで同様、当局からも米軍に申入れを行う。
- 訓練期間中における騒音測定も、これまで同様実施し、結果も速やかに公表したい。
- 訓練に参加する戦闘機は平素より定期整備、飛行前飛行後点検等を適正に実施し、十分な安全を確認していると承知。訓練の実施にあたっては、航空機の更なる安全確保を米側へ求めたい。
- 関係自治体や報道機関等への情報提供については、可能な限り対応したい。
- 連絡調整協議会への出席は、今後前向きに検討したい。
- 現地説明会は、本日の要望とこれまでの実績を踏まえしかるべく検討したい。
- 米軍によるブリーフィングの実施は、米側にしかるべく伝えたい。
- 米軍人の外出時等における当局の対応については、これまでの実績を踏まえ、必要に応じサポート等を行い、トラブルの未然防止に努める。
- 訓練終了後の検証は、これまでの実績を踏まえ、適切に対応したい。
- 民間チャーター機の深夜、早朝の飛行については、米軍の運用上の理由によりやむを得ず、早朝深夜になってしまう場合もあり得るが、極力その様な状態が生じないように、米側に求めて参りたい。

平成24年8月27日
北海道防衛局

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転に関する
訓練計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

- 期 間：平成24年9月5日（水）～7日（金）
- 参加部隊：〔米軍〕
 - 第12海兵航空群（岩国）
 - 〔航空自衛隊〕
 - 第2航空団、北部航空警戒管制団
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加規模：タイプI訓練
 - 〔米軍〕
 - F A - 1 8 × 4 機程度、人員約20名程度
 - 〔航空自衛隊〕
 - F - 1 5 × 8 機程度

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」 での要請及び質問事項

北海道防衛局より前回の協議会開催時（H24. 8. 10）に 検討事項としたものについての回答

- 現地説明会は、前回の要望を踏まえ、9月5日（水）午前を実施することで調整中。
- 米軍ブリーフィングは、米側から実施可能との回答があり、現地説明会前に実施する。
- 戦闘機の見学会は、今回は訓練が短期間であることなどから実施できない。
- 千歳市連絡調整会議には、要望を踏まえ防衛局職員を出席させる。
- 現地連絡本部には、問合せのための固定電話を前回同様に設置する。

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する「米軍再編に係る 千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請及び質問事項

8月10日の通知の際にも、千歳市・苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、協定の遵守など6項目について要請をしてきたところであり、貴局からも「これまでの協議や確認経過を踏まえて実施したい」との回答をいただいております。

重ねてのお願いとなりますが、先の要請事項について、再度お願いをするとともに、住民の不安や懸念を解消するためには、訓練に関する様々な情報が可能な限り提供される必要があると考えておりますので、現地説明会の実施などについて、よろしくお願ひいたします。

- ① 米側の部隊構成を教えてください。

千歳市の個別要請及び質問事項

8月10日の協議会において要請をさせていただいたが、再度、協定の順守とともに、「訓練全般にわたる安全の確保と、万が一にも事件が発生しないよう米軍人の規律維持を図っていただきたいこと」を重ねて申し上げる。

- ① 機材を輸送する輸送機の展開・撤収の日程はどのようになるのか。
- ② 米軍関係者の宿泊場所及び、米兵の外出の可能性について。

以上の2点について、分かっている範囲で教えてください。

苫小牧市の個別要請及び質問事項

(個別要請)

- ① 8月10日開催の本連絡協議会におきまして、北海道・千歳市・苫小牧市で構成する連絡会議として、また苫小牧市といたしましても協定等の遵守のほか、機体点検の徹底など、訓練の安全管理及び米軍人の規律の維持について要請したところでありますが、市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう、重ねてお願いいたします。
- ② 当市におきましては、訓練終了後に9月議会の所管委員会において訓練結果報告を行いたいと考えておりますので、騒音測定結果を始めとする訓練に関する情報提供を速やかに行なっていただきたい。

(質問事項)

- ① 今回の参加部隊は、岩国基地からの移転ということで、参加機種がFA18となるとのことですが、8月10日開催の本協議会で申し上げましたとおり、本年4月にバージニア州で起きた墜落事故機と同型機と思われるので、墜落事故の原因と再発防止策について情報提供をいただきたい。
また、国はこの様な事故から国民の安全を守るために、墜落や事故などを起こした米軍機に対し、原因究明と再発防止策を米側に強く求めるべきと考えるが、防衛省としての考えをお聞かせいただきたい。
- ② 現段階で米軍参加部隊の宿泊先が基地外ということは予定されているか。また、基地外の宿泊があれば宿泊先・人数、また、宿泊者に対する北海道防衛局の対応をお知らせいただきたい。
- ③ 昨年度末に、千歳基地における誘導路整備の関係で8月上旬から10月中旬頃まで東側滑走路の使用が出来ないため、この間、西側滑走路を使用して通常訓練を行うとの連絡を北海道防衛局よりいただいておりますが、今回の訓練は西側滑走路のみを使用することになるのかお教えいただきたい。

回 答【北海道防衛局】

- 米側の部隊構成は、パイロットのほか整備要員などと承知。
- 輸送機の展開撤収については、戦闘機は9／5展開、9／7撤収、人員機材等の輸送については、現時点では訓練の前後を予定しているが、決定次第通知したい。
- 訓練にあわせて来道する在日米軍司令部の関係者数名が基地外に宿泊予定、岩国の部隊は基地内に宿泊する予定。基地外の宿泊先は保安上の理由で公表しない。
- 外出は米軍の指揮官の判断だが、過去の例から、あることが予想される。
- 米本土での墜落事故の情報提供については、可能な限り対応したい。防衛省としてはこれまでも事故等があるたびに米側に対して原因究明と再発防止の徹底等について申入れを行っている。今後とも同様。
- 今回は千歳基地西側滑走路を使用する。しかしながら、できる限り住民の方々の負担が増加することのないよう、今回の計画では訓練期間はこれまでで最も短い。

地域説明会の開催結果について

1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H24. 8. 30 (木) 19:00～19:30	H24. 8. 31 (金) 19:00～20:00	H24. 9. 1 (土) 18:00～18:50
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端コミュニティセンター	勇払公民館
出席者数	12人(男11、女1)	23人(男20、女3)	15人(男13、女2)
質問者数	2人	6人	3人

○三地区合計 出席者数 50人(男44人、女6人) ※男性88%
質問者数 11人

2 三地区地域説明会における質問・意見等について

【三地区で寄せられた質問・意見等】

- ・ 訓練内容について・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件 (31.3%)
(コース、高度、空域、回数・訓練時間など)
- ・ 事件・事故について・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件 (18.8%)
- ・ 地域説明会について(参加人数)・・・・・・・・ 2件 (12.5%)
- ・ 墜落事故について・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件 (12.5%)
- ・ 住民周知について・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 騒音測定体制について・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 訓練結果の公表について・・・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)
- ・ 沖縄負担軽減問題について・・・・・・・・・・・・ 1件 (6.3%)

合 計 16件

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する

米海兵隊ブリーフィング・北海道防衛局による説明会質疑応答

●米海兵隊ブリーフィング

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・今回来た戦闘機は、今年4月に本土バージニア州で墜落したものと同型機か。事故原因究明や再発防止策、今回の訓練における点検整備はどうなっているのか。

【カーク少佐】

- ・事故機と同型機。詳細は調査されたと聞いている。機体の点検整備についてはしっかりと行われている。

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・再発防止策は講じられているという理解で良いか。また、原因は公表されているのか。

【カーク少佐】

- ・再発防止策は講じられている。原因はまだ分からないので公表できない。

○【NHK記者】

- ・今回は具体的にどのような訓練を行うのか。また、訓練のスケジュール、例えば午前中に何回行うのかなど教えてほしい。

【カーク少佐】

- ・1対1、2対2などの訓練を行う。1日当たり午前と午後の2回を予定している。

○【苫小牧市航空機騒音対策協議会 丹羽会長】

- ・この訓練移転が始まる前に地元と北海道防衛局で協定を締結しているが、隊長はその協定があることについて承知しているか。

【カーク少佐】

- ・協定については聞いている。周辺住民に騒音等でご迷惑をお掛けすることについては、最大限配慮する。

●北海道防衛局による説明会

○【北海道新聞記者】

- ・今回タイプⅠ（小規模）になった経緯は。再編のロードマップではタイプⅠからタイプⅡに発展していくこととなっているはず。また、外出はあるのか。

【古川企画部長】

- ・国内の訓練移転は日米共同訓練なので、双方の事情やスケジュールを考慮した調整の結果決まる。タイプⅡを一度実施したからといって、その後タイプⅠの実施が無いというわけではない。外出は隊長の判断で実施されるが、先程隊長には外出する場合の規律維持を指導するようお願いした。外出があった場合、翌日に問合せがあれば答えたい。

○【千歳市議（香月）】

- ・訓練の目的は主に嘉手納基地周辺の負担軽減だったはず。過去の訓練移転が、どの程度の負担軽減になっているのか。

【古川企画部長】

- ・訓練移転の目的は在日米軍基地周辺地域の訓練に伴う影響の軽減。我々としては、訓練移転の実績を積み上げることで少しでも負担軽減が図られればと思っている。沖縄の負担軽減の点では、グアムへの訓練移転も追加されたところ。

○【千歳市議（佐藤）】

- ・今回、東側滑走路が使えないことは分かっていたこと。西側の滑走路は住宅街への騒音の影響が大きい。日程を考慮する段階では、こうしたことは関係ないという認識なのか。また、協定に関連して、西側旋回が心配。原則として行わないことを徹底して欲しい。さらに、事前に市民が訓練の時間を知ることはできないか。

【古川企画部長】

- ・今年の上半期は国内では訓練移転が一度も行われておらず、上半期中に実施するには千歳しかないという事情があった。ただ、できる限り周辺住民の負担が増加することのないように、訓練規模は抑えられている。また、協定については、米軍機も自衛隊機と全く同じ運用が行われる。さらに現地連絡本部から、午前と午後に訓練予定の有無を自治体に連絡し、離陸着陸の時間も事後に連絡している。

○【苫小牧市議（渡辺（満））】

- ・苫小牧市議会が開会中の時期に訓練を実施するのは配慮に欠ける。また、年間計画の公表時期が遅れている。

【古川企画部長】

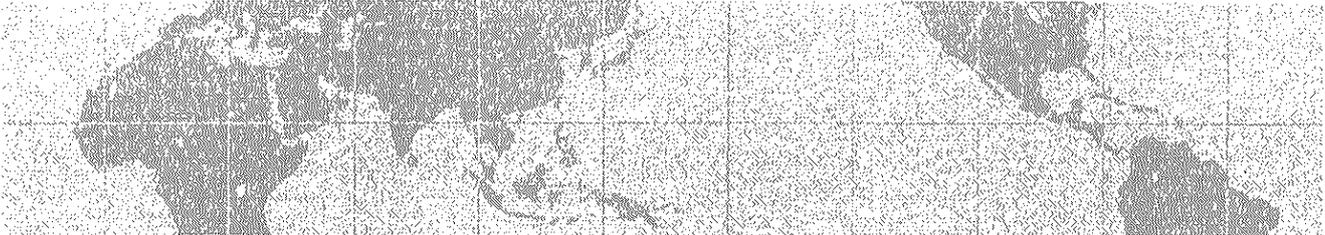
- ・受験シーズンは避けるなど、一定程度の配慮はしているところ。年間計画の公表が遅くなったことは、グアムへの訓練移転が追加され調整が難しくなったことが要因と聞いている。

○【苫小牧市 中野副市長】

- ・過去の岩国からの訓練移転と今回で違う点はあるか。

【古川企画部長】

- ・内容については特段の違いはないと認識。



千歳基地への訓練移転(共同訓練)について

平成24年9月5日(水)



北海道防衛局

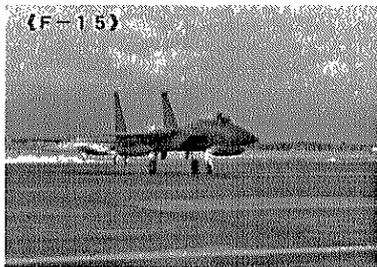
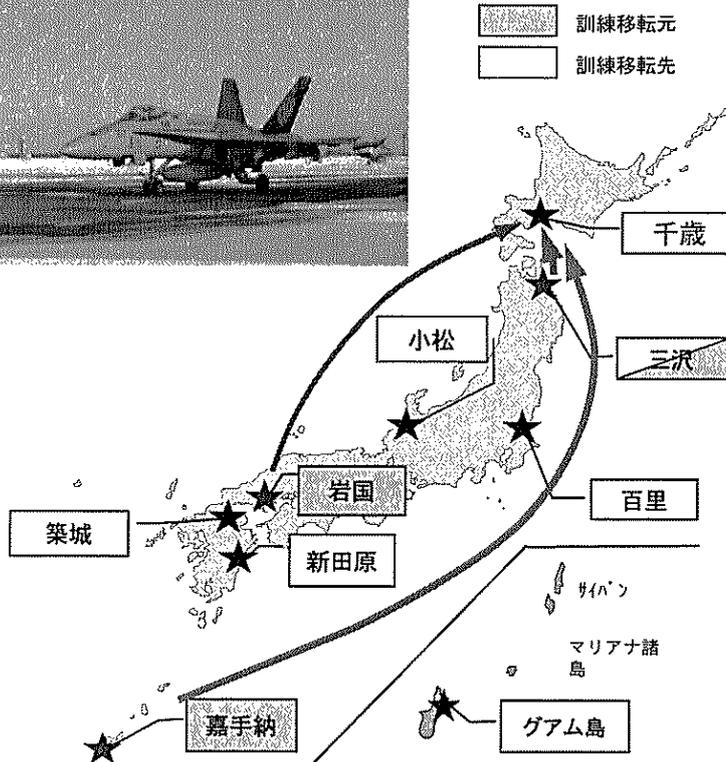
- 1 在日米軍再編に係る訓練移転
- 2 平成24年度訓練計画
- 3 今回の訓練(共同訓練)の計画概要
- 4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置
 - (1)現地連絡本部の編成
 - (2)現地連絡本部の業務
- 5 これまでの訓練移転の実績

1 在日米軍再編に係る訓練移転

訓練移転の経緯

●再編の実施のための日米ロードマップ(平成18年5月1日)に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施

●また、平成22年5月の「2+2」共同発表において、両政府は、二国間及び単独の訓練を含め、米軍の沖縄県外への移転を拡充すること、及びグアム等日本国外への訓練の移転を検討することの決意を表明し、平成23年1月及び10月の合同委員会において、嘉手納における更なる騒音軽減を図るため、訓練移転先として新たにグアム等を追加することを日米間で合意



2 平成24年度訓練計画

平成24年度訓練計画(平.24.3.22.公表)

- 1 米軍再編に係る訓練移転については、平成24年度に10回程度の実施を目標に計画する予定。
そのうち、グアム等への訓練移転は、5回程度の実施を目標に計画する予定。
- 2 平成24年度の訓練移転計画については、米軍の運用上の理由等により変更となることがある。
- 3 なお、個々の訓練計画の概要(訓練規模、計画期日等)については、決まり次第、関係自治体等にお知らせ。

【タイプⅠ訓練：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練】

【タイプⅡ訓練：1回につき、6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練】

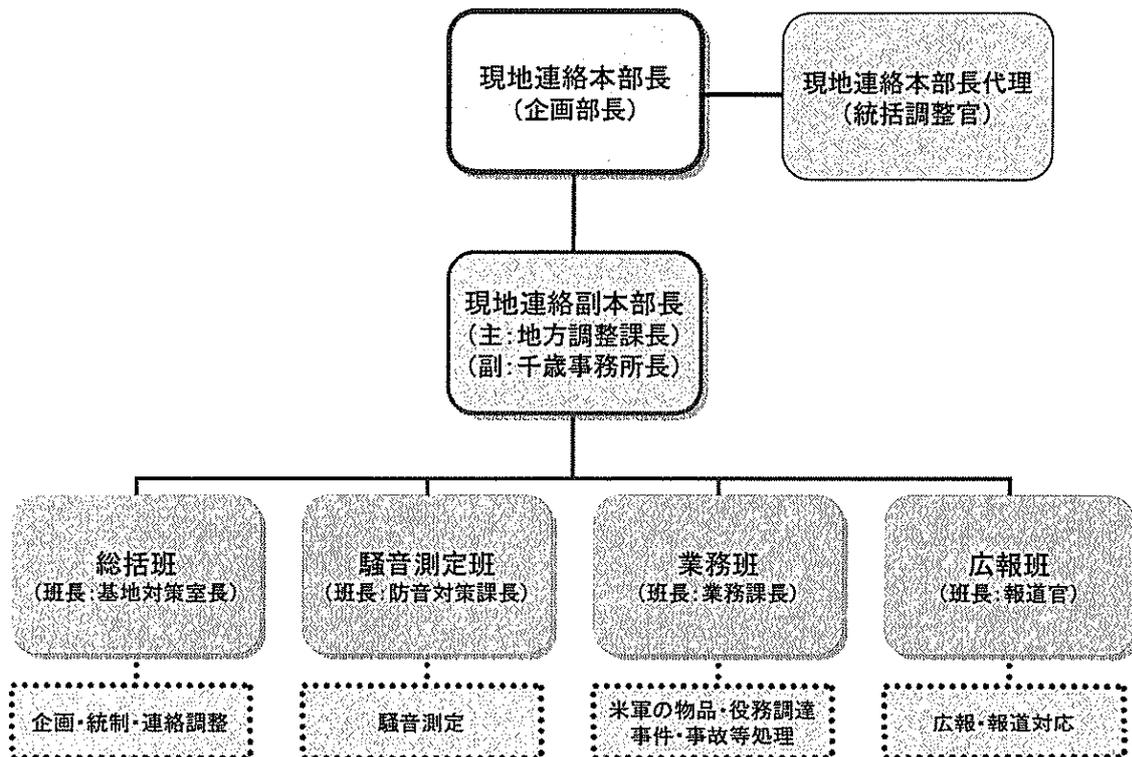
3 今回の訓練(共同訓練)の計画概要

- 8月27日(月)、当局から地元自治体等へ通知し、防衛本省において公表。

項目	米 軍	航空自衛隊
期 日	平成24年9月5日(水)～7日(金)	
参加部隊	第12海兵航空群 (岩国)	第2航空団(千歳)、 北部航空警戒管制団
演練項目	戦闘機戦闘訓練等	
訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域	
参加規模		

4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(1)現地連絡本部の編成

○訓練期間中、千歳基地に現地連絡本部を設置(設置日:9月4日(火))



4 北海道防衛局訓練移転現地連絡本部の設置－(2)現地連絡本部の業務

- 現地連絡本部では、米軍への通訳支援、広報支援、食事・飲料水の調達等の各種支援及び地元自治体、関係機関及び報道機関への訓練情報の提供、各種問い合わせへの対応に当たるとともに、日米戦闘機の騒音測定を実施。
- この他に、訓練実施の有無や騒音測定結果（速報値）等の訓練に関する情報について、地元自治体、関係機関及び報道機関に対し、随時情報提供を実施。



騒音測定作業状況



現地説明会実施状況



米軍ブリーフィング実施状況

5 これまでの訓練移転の実績

- 18年度訓練移転実績 《計1回：詳細は省略》
- 19年度訓練移転実績 《計8回：詳細は省略》
2月 岩国から千歳基地（タイプⅠ）
- 20年度訓練移転実績 《計5回：詳細は省略》
12月 嘉手納から千歳基地（タイプⅠ）
- 21年度訓練移転実績 《計8回：詳細は省略》
4月 岩国から千歳基地（タイプⅠ）
- 22年度訓練移転実績 《計4回：詳細は省略》
11月 嘉手納から千歳基地（タイプⅡ）
- 23年度訓練移転実績 《計5回》
7月 三沢から築城基地（タイプⅡ）
2月 岩国から百里基地（タイプⅡ）
10月 岩国からグアム
11月 岩国からグアム
2月 嘉手納からグアム
- 24年度訓練移転実績 《現在1回》
5月 岩国からグアム

注：タイプⅠ：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加
タイプⅡ：1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加

【参考資料】地元自治体との協定等

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」(平成19年1月26日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳市及び苫小牧市との間で締結

- 【内容】
- 千歳基地の位置付け
 - 生活環境の整備について
 - 市民の安全・安心対策について
 - 移転される米軍機の訓練形式等について
 - 地元への情報提供について

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と北海道、千歳市及び苫小牧市との間で設置

【訓練計画の情報提供に関すること等について協議するために設置】

※オブザーバー参加

(厚真町、安平町、恵庭市、北広島市、栗山町、長沼町、由仁町)

※ 「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」(平成19年1月29日)

札幌防衛施設局(現北海道防衛局)と千歳基地周辺の関係機関とで設置

【事故等発生時に関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について協議するため設置】

MEMO

千歳基地への訓練移転実施内容(結果)について

期 間	平成24年9月5日(水)～平成24年9月7日(金)
訓練回数	9月5日 午後1回 米軍機 (FA18×4機)、自衛隊機 (F-15×4機) 6日 午前1回 (第1陣) 米軍機 (FA18×2機)、自衛隊機 (F-15×2機) (第2陣) 米軍機 (FA18×2機)、自衛隊機 (F-15×2機) 午後1回 米軍機 (FA18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機) 7日 午前1回 米軍機 (FA18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機) 午後1回 米軍機 (FA18×4機)、自衛隊機 (F-15×6機) 計 5 回
参加部隊	米 軍 : 第12海兵航空群(岩国) 航空自衛隊 : 第2航空団(千歳)、北部航空警戒管制団
使用基地	千歳基地
演練項目	戦闘機戦闘訓練等
使用訓練空域	北海道西方空域、三沢東方空域
参加規模	タイプ I 訓練 米 軍 : FA18×4機 パイロットを含む米軍の人員 約20名 航空自衛隊 : F-15×8機 パイロットを含む整備人員外
米軍の移動関係	9月 4日 : 米軍の物資等(民間トラック) 到着 : 米軍の人員約20名(民航機使用) 到着 5日 : 米軍FA18×4機・人員4名 到着 7日 : 米軍FA18×4機・人員4名 帰還 : 米軍の物資等(民間トラック) 出発 8日 : 米軍の人員約20名(民航機使用) 帰還
米軍人外出状況	外出あり(千歳市内)
現地連絡本部	設 置:平成24年9月4日(火) 閉 所:平成24年9月8日(土)

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

【苫小牧市】

苦情	0件
問い合わせ等	1件
・音が聞こえないが、訓練は行われているのか（北栄町男性）	

【千歳市】

苦情	3件（・音がうるさい（訓練全般に対して））
問い合わせ等	4件（・外出はするのか・大きな音が出た時の住民周知はどの様にするのか）

【現地連絡本部】

苦情	4件（・訓練時間の事前公表について・音がうるさい（訓練移転時間外））
問い合わせ等	7件（・当日の訓練実施の有無等について）

平成24年9月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果速報値

(苫小牧市臨時測定局および苫小牧市常時測定局分)

【騒音測定結果】 (米):米軍機 (自):自衛隊機

日時・離着の別・機種			測定場所		最大ピーク騒音レベル(dB)														
					苫小牧市臨時測定局			苫小牧市常時測定局											
					沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明町ひまわり公園	植苗会館局	丹治沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局							
9月5日(水)	飛来、訓練	訓練空域:太平洋方面(B)および日本海方面(C)																	
	飛来	千歳側着陸	FA-18(米)×4機 8:58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	午後	苫小牧側離陸	F-15(自)×2機 14:51	79.6	77.8	-	-	76.3	-	81.2	78.3	14:52:23	14:52:30	-	-	14:52:04	-	14:52:36	14:52:47
F-15(自)×2機 15:00			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
FA-18(米)×2機 15:04			83.4	85.8	-	-	79.8	73.1	79.7	89.7	15:05:44	15:05:56	-	-	15:05:01	15:05:29	15:05:53	15:05:47	
FA-18(米)×2機 15:06			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千歳側着陸		F-15(自)×2機 15:57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×2機 16:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×2機 16:02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×2機 16:08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9月6日(木)	訓練	訓練空域:太平洋方面(B)および日本海方面(C)																	
午前	苫小牧側離陸	F-15(自)×2機 8:49	-	72.8	-	-	-	-	-	-	74.4	-	8:51:12	-	-	-	-	8:51:07	
		FA-18(米)×2機 9:04	75.7	78.3	-	-	74.1	-	-	80.9	9:06:05	9:06:23	-	-	9:05:43	-	-	9:06:11	
		F-15(自)×2機 9:39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×2機 9:46	-	78.5	-	-	-	-	76.0	78.1	-	9:48:14	-	-	-	-	9:48:12	9:48:07	
	千歳側着陸	F-15(自)×2機 9:53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×2機 10:03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×1機 10:41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×1機 10:43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	FA-18(米)×2機 10:57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	午後	苫小牧側離陸	F-15(自)×2機 15:22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			F-15(自)×4機 15:26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			FA-18(米)×4機 15:42	-	-	83.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		千歳側着陸	F-15(自)×2機 16:42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			F-15(自)×2機 16:44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			F-15(自)×2機 16:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			FA-18(米)×4機 17:06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9月7日(金)		訓練、帰還 訓練空域:日本海方面(C)									
午前	千歳側離陸	F-15(自)×4機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		8:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	苫小牧側着陸	8:05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		FA-18(米)×4機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		8:13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:07	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9:11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9:14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	FA-18(米)×4機	94.1	92.3	-	-	-	-	75.4	88.0		
9:25	9:21:24	9:21:53	-	-	-	-	9:21:46	9:21:29			
午後	苫小牧側離陸	F-15(自)×4機	-	-	-	-	73.2	-	-	-	
		12:04	-	-	-	-	12:06:11	-	-	-	
		F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	
	千歳側着陸	12:08	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×4機	-	-	79.5	-	-	-	-	-	
		12:11	-	-	12:13:04	-	-	-	-	-	
	苫小牧側着陸	F-15(自)×2機	-	-	-	-	-	-	-	-	
		13:11	-	-	-	-	-	-	-	-	
		F-15(自)×4機	-	-	-	-	-	-	-	-	
	帰還	13:17	-	-	-	-	-	-	-	-	
		FA-18(米)×4機	-	-	-	-	-	-	-	-	
		13:23	-	-	-	-	-	-	-	-	
FA-18(米)×4機	-	-	79.9	-	-	-	-	-			
15:50	-	-	15:52:12	-	-	-	-	-			

最高値	FA-18(米)	苫小牧側 離陸時	83.4	85.8	83.4	-	79.8	73.1	79.7	89.7
		苫小牧側 着陸時	94.1	92.3	-	-	-	-	75.4	88.0
	F-15(自)	苫小牧側 離陸時	79.6	77.8	-	-	76.3	-	81.2	78.3
		苫小牧側 着陸時	-	-	-	-	-	-	-	-

【参考値】

平成23年度(年間)	最高値	-	-	-	93	94	95	91	103
	平均	-	-	-	75	76	74	75	79
これまでの訓練移転の最高値		93.5	93	83	82	96	85	90	96

※道局も含めた平成23年度最高値は、ウトナイ局の106dBです。
 ※道局も含めたこれまでの訓練移転の最高値は、ウトナイ局の99dBです。

【備考】

- ① 測定値は、70dB以上の音が5秒以上継続したデータです。
- ② 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
- ③ 上記表中の騒音値時間は最高値の発生時刻を表しています。
- ④ 参考値の平成23年度(年間)の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。

(仮訳)

報道発表

平成 24 年 7 月 22 日 14 時 28 分

合衆国空軍

第 35 戦闘航空団報道部

三沢基地の F-16 が北太平洋で着水

三沢基地・米空軍の F-16 戦闘機が本日 11:30 頃、北海道北東約 250 マイルに着水した。当該機は第 35 戦闘航空団所属であった。当該機にはパイロット 1 名が搭乗していた。現在、パイロットの救出に向け努力を進めている。

当該機は、事故発生時、北アメリカに向かう途中であった。現時点では事故の原因は分かっていない。当局は当該事故について捜査を進める予定である。

(仮訳)

報道発表

平成 24 年 7 月 22 日

21 時 29 分

合衆国空軍

第 35 戦闘航空団報道部

三沢基地 F-16 戦闘機のパイロットは安全に救出された

三沢基地一日曜日の午前中に F16 戦闘機から脱出したパイロットは、現地時間の 7 月 22 日午後 5 時 30 分頃、日本と米国の民間と軍当局の協力によって救出された。

パイロットの容体は安定しており、米国籍の商船上にいる。

日本の海上保安庁、海上自衛隊、米国沿岸警備隊、米海軍を含む複数の機関と当地域にいた民間船が救助活動の対応をした。

「我々は我々の空兵を安全に救出することに全力を傾けてくれた日本国の友人やその他の機関の支援に感謝する」と第 35 戦闘航空団副司令官のウィマー大佐は述べた。

「救出に携わった全ての人の不断の努力が救出の成功を確かなものにした。我々は彼らの援助に大変感謝し、迅速に高い技術で対応してくれたことに恐縮している。我々はこの様に効果的な同盟関係の一部であることを誇らしく思い、救出に携わった全ての人に心から感謝の意を表したい」とウィマー大佐は付け加えた。

事故原因について調査が行われることになる。追加の情報は入手され次第公表される予定である。